

2023年度 災害支援ナース養成研修 集合研修

1.研修の目的

災害や新型コロナなどの新興感染症等の発生に際して、都道府県において迅速に看護職等の確保を図るため、他の医療期間等への応援派遣に適格に対応てせきる看護職を養成する。

オンデマンド研修の講義で学んだ内容をふまえ、災害・感染症の看護に必要な知識・技術を習得する。

2.研修の目標

- 1)災害・感染症等に関する基礎知識・技術を習得する。
- 2)応援派遣の概要を理解し、研修修了者として実際の派遣の派遣時に対応できる技能を習得する

【災害編】

- 目標: 1)看護職として必要な災害医療と看護の基礎知識を習得する。
- 2)災害時の看護職の役割と活動の実際を理解する。
- 3)看護職として、被災地や被災者に対して有効に機能できる技能を習得する。
- 4)災害時に看護職として他者と協働でき、自律した活動ができる知識を習得する。

日程	時間	単元	ねらい	学習内容	講師・演習支援者	時間	
【第1回】 1/23 (火) ／ 【第2回】 2/6 (火)	9:30～ 10:20	長崎県における災害・感染症に係る応援派遣時の看護支援活動	1)災害時および感染症の発生・蔓延時の看護職の活動の役の実際を想定することができる	【講義】 ・ 長崎県の災害・感染症に係る応援派遣・医療提供体制の状況や対策(派遣の仕組み、登録含む) ・ 長崎県看護協会における災害・感染症に係る応援派遣時の 看護支援活動	長崎県	50分	
	10:20～ 10:30	災害支援ナースとしての心構え(支援側・受援側の立場の理解)	2) 応援派遣に際し、受援者や支援者が相互協力するために必要な知識を学ぶ	・ 応援派遣の際に受援者・支援者の間に生じやすい役割期待のずれなどを事例を通して理解し、応援派遣の再の心構えを学ぶ	長崎県看護協会	10分	
	休憩(5分)						
	【演習】災害時の看護職の活動の実際						
	時間	単元	ねらい	学習内容	講師	時間	
	10:35～ 10:45	オリエンテーション					10分
	10:45～ 11:30	1)派遣決定から出発までの準備	1)災害時の看護職の活動の実際を想定することができる	・ 自己紹介(アイスブレーキング) ・ ワーク1:派遣決定までの調整と準備 ・ 出発前の情報収集と情報入手の手段 ・ ワーク2:派遣決定から出発までの準備 ・ 出発迄の調整・出発前の確認事項 ・ ワーク3:携行品 ・ 携行するする物品の考え方	領域専門家	45分	
	中休憩(5分)						
	11:35～ 12:35	2)支援者としての心構え	2)災害時に看護者として活動する際の基本的な心構えがわかる	・ 支援者としての心構え ・被災者の尊厳 ・基本的な心構え ・ 被災者の心理的反応の時間経過 ・支援する側の心理	領域専門家	15分	
		3)活動場所の違いによる活動の特徴	3)災害時の看護職の活動の展開と展開にあたっての留意事項がわかる	・ 活動場所の違いによる活動の特徴(医療機関・避難所) ・ 医療機関での活動の特徴 ・避難所での活動の特徴		45分	
	昼休憩(60分)						
	13:35～ 14:15	4)CSCA(TTT)	・災害時の看護職の活動の実際を想定することができる ・災害時に看護職として活動する際の基本的な心構えがわかる ・災害時の看護職の活動の展開と展開にあたっての留意事項がわかる	・ CSCA(TTT) ・活動の原則 ・指揮命令システムを確認 ・活動内容の確認と調整 ・ (ワーク)・安全管理<二次災害の回避・自身の安全を守る>	領域専門家	40分	
	14:15～ 16:25 *(中休憩10分含む)	5)方針に沿った活動		・ 方針に沿った活動 ・ 現状把握と支援ニーズの再確認 ・アセスメントに含めること ・ 自立への支援とは ・ (ワーク)・救急搬送や発熱者等の対応 ・新たな活動を依頼されたら、 ・ 記録と報告 ・活動終了に向けて ・帰還後に行うこと		120分	
	16:25～ 16:30	まとめ				5分	

【演習(感染症)編】新型コロナなど新興感染症患者の看護

- 目標： 1)新型コロナなど新興感染症に関する基礎的知識を習得する。
- 2)新型コロナなど新興感染症患者に対応できる知識・技術を習得する。
- 3)酸素療法、集中治療管理に関する基本的知識を習得する。
- 4)新型コロナなど新興感染症患者の看護に関する基本知識を習得する。

		単元	ねらい	演 習 内 容	講師・演習 支援者	時間
【第1回】 1/24 (水) ／ 【第2回】 2/7 (水)	10:00 ～ 11:00	1)感染拡大・重症化の予防	医療機関、療養施設、高齢者施設、避難所、自宅など、施設毎の違いや特徴をふまえた標準予防策およびゾーニングの基礎を学ぶ	- 手指衛生、PPE(个人防护具着脱・区域ごとのポイント、狭い空間や自宅等)の体験 - ゾーニングの基本(環境整備・廃棄物・寝具・食器の取り扱い、感染拡大した場合のゾーニングのあり方等)の体験 - 応援派遣の際、派遣先の応援施設等で自分が指導を担う可能性があることを意識する	領域専門家	60分
	休憩10分					
	11:10 ～ 12:10	2)安楽な呼吸の保持	感染予防策(PPEを装着)を実施したうえで、安楽な呼吸へのケアや日常生活援助を体験的に学ぶ	- 酸素療法や吸引が必要な患者への対応 - 呼吸理学療法・体位ドレナージ/ポジショニングの実際 - 認知機能が低下している認知症患者等、感染対策を守れない患者への対応 - 二次感染予防の重要性を理解し、清潔ケア時(航空ケア含む)の全身観察と注意点の理解	領域専門家	60分
	昼休憩60分					
	13:10 ～ 14:10	3)集中治療室内での管理	集中治療室で 사용되는医療機器および生体モニターの管理および生じやすいトラブルについての基礎的な知識を学ぶ	- 医療機器モニターおよび生体モニターの基本知識 - トラブルシューティングへの対応と事例検討 ＜事例の例＞医療機器および生体モニターが装着されている患者さん において発生が予測される事案等	領域専門家	60分
	休憩10分					
	14:20 ～ 15:50	4)多職種連携による医療提供	派遣先の医療機関等における指揮命令系統や各専門職が担う役割を理解し行動が出来る	- 派遣先における指揮命令系統の確認 - 報告・連絡・相談の重要性の理解およびそのルートやその方法 - コミュニケーションの重要性 - 他施設での連携の難しさや留意点を学ぶ	領域専門家	30分
		5)患者・家族へのケア・看取り	応援派遣の際に生じる事例を通して、隔離による不安、意思決定支援、看取りケア、死亡時の対応を理解する	医療機関、療養施設、高齢者施設、避難所、自宅など、施設毎の違いや特徴をふまえ、事例を通して、隔離による不安、意思決定支援、看取りケア死亡時の対応を理解する		30分
				まとめ		30分